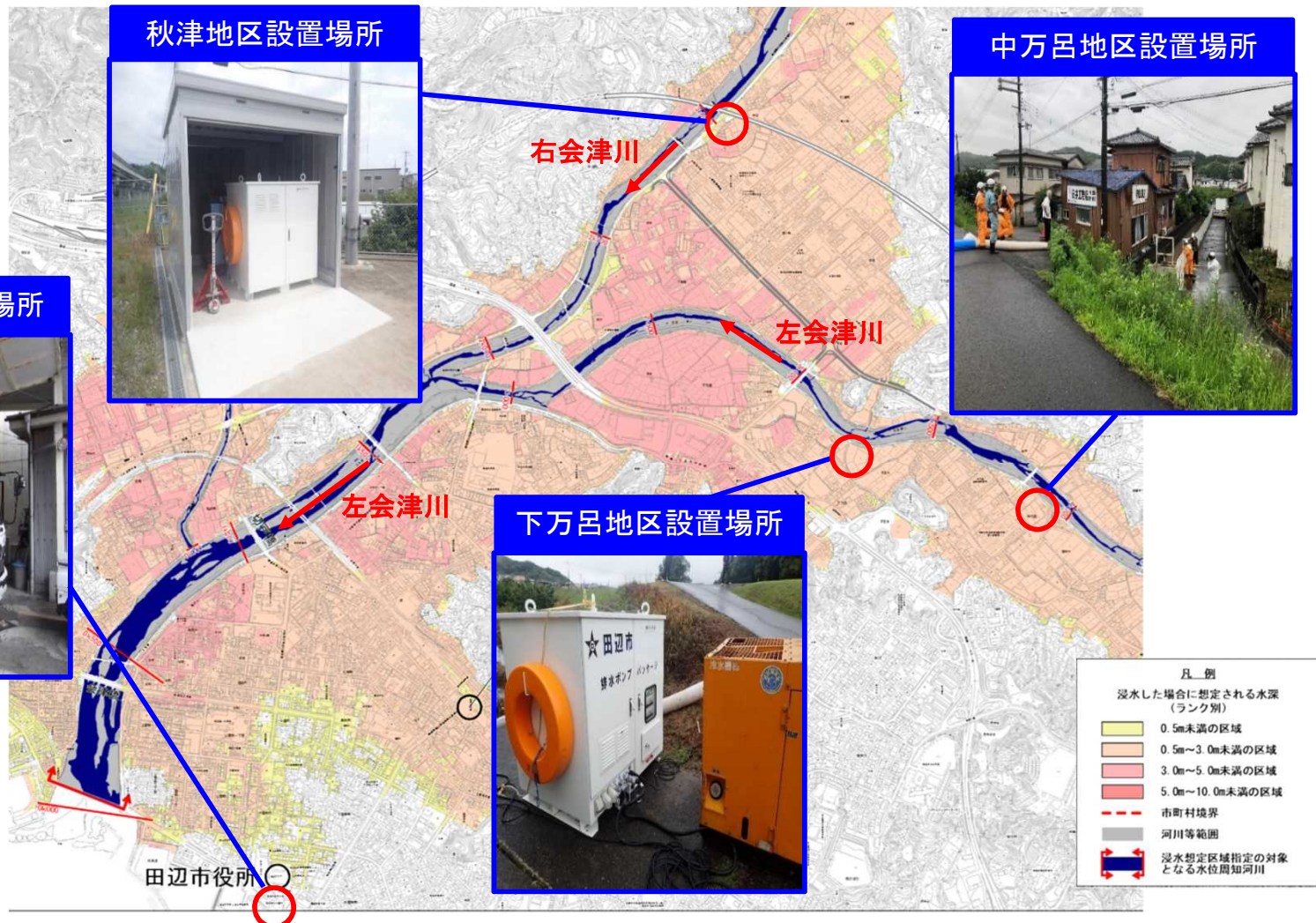


H30-R3の西牟婁地域の減災に係る 取組方針(第1期)の取組事例

- 排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備に係る検討

取組概要

- ・ 田辺市では排水ポンプ車の導入と、排水ユニットを3箇所（秋津・中万呂・下万呂）に設置。
- ・ 地元の企業に排水ポンプ車、排水ユニットの操作等を委託し、災害現場において、防災活動従事者（田辺市消防本部及び市職員等）と緊密な連携を図り浸水対策を実施。



取組概要

小泓川右岸

庄川左岸

①事業目的

台風等の豪雨に伴う河川増水等により生じる内水浸水被害に対する防災・減災に資することを目的とする。

②事業概要

富田川の支川である小泓川、庄川に排水ポンプを設置し浸水対策に取り組んだ。

③常設資機材

ポンプ（排水能力8.0～10.0m³/min）
8機



庄川右岸（第一樋門排水ポンプ設備）



取組内容

①想定される浸水リスクの周知

● 土砂災害・洪水ハザードマップの作成

取組概要

◎内容

- ・土砂災害警戒区域及び富田川・馬川の洪水浸水想定区域を表示。
- ・土砂災害特別警戒区域数 542箇所 警戒区域数 570箇所
- ・想定最大規模降雨 838mm/24時間
- ・降雨確率 1/1,000年以上
- ・前回に比べ、浸水面積が約16.3倍
- ・緊急避難場所の安全レベルを見直し
- ・冊子8,000部、WEB版ハザードマップ

◎事業費等

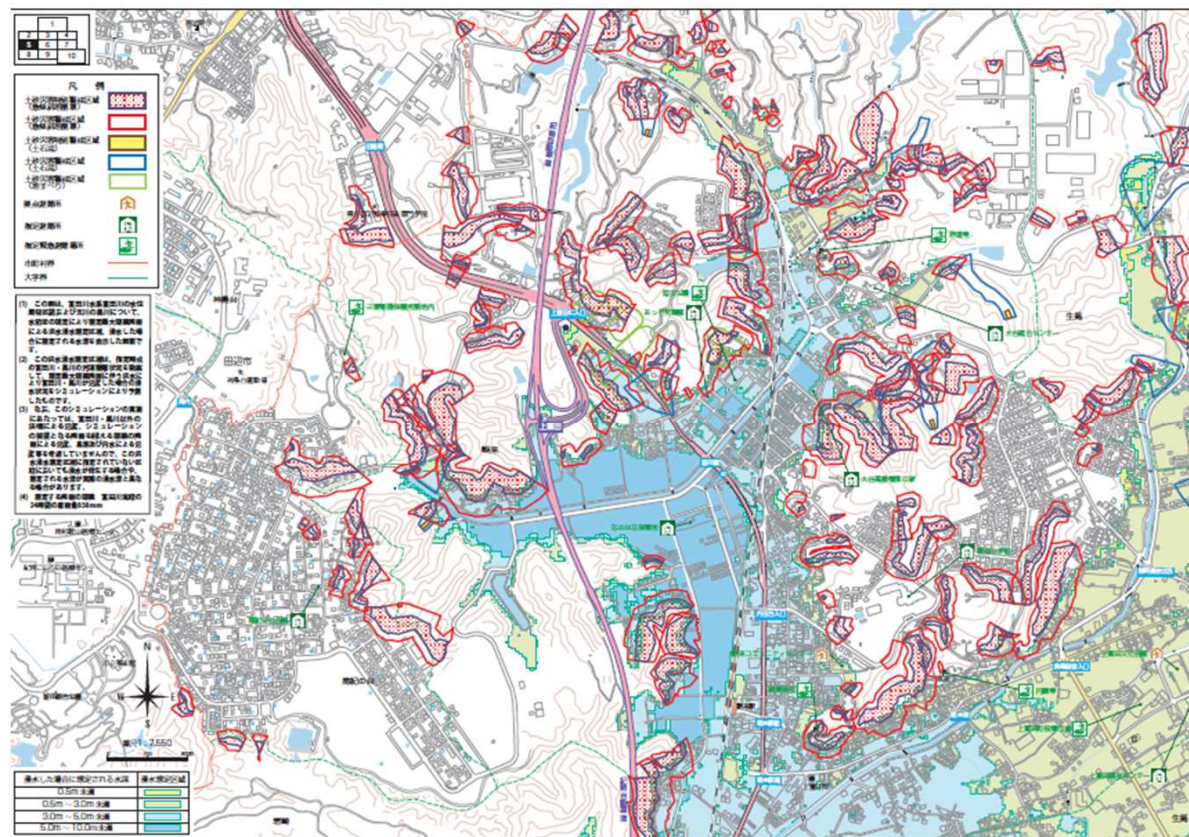
事業費：3,476,000円

委託先：(株)ゼンリン関西支社

◎周知方法

令和2年5月に町広報と一緒に配布。

ホームページ掲載



取組内容

①情報伝達、避難計画等に関する事項

■想定される浸水リスクの周知

・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

●想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の公表

取組概要

【目的】

○想定を超える洪水氾濫が発生するなか、計画や施設能力を上回る洪水氾濫に対し、人命を守るなど被害の軽減を図ることを目的として、想定し得る最大規模降雨による洪水を想定し、住民の安全な避難行動、災害拠点の機能確保などを推進するもの。(平成27年水防法改正)

【公表時期】

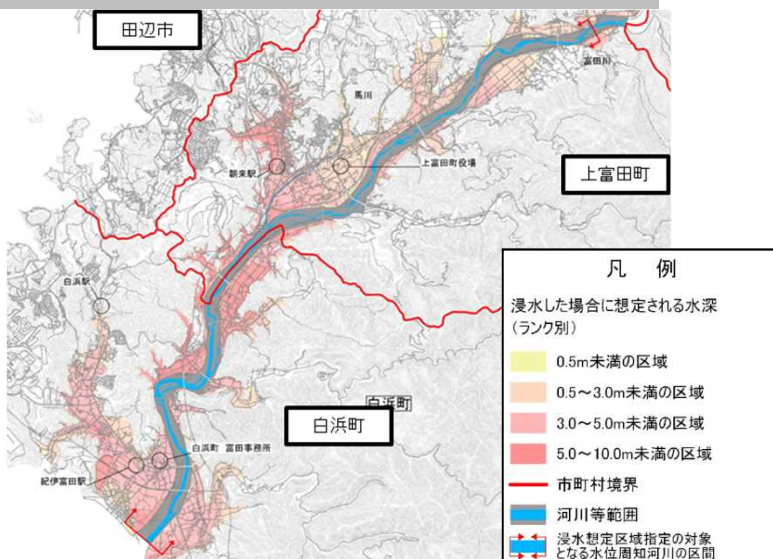
○左会津川は平成31年2月に公表。富田川、日置川は令和2年2月に公表。

【ハザードマップ】

○関係市町においては、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成。

洪水浸水想定区域(L2:想定最大規模)

富田川



洪水浸水想定区域(L2:想定最大規模)

日置川

